

ACTFL の改訂とレベルの導入について

- ACTFL 初版は 1986 年発行（1982 年にひな形となる ACTFL Provisional Proficiency Guidelines が発表されている）。1999 年の改訂でそれまで上級が 2 レベルだったものが上級一上・中・下という 3 レベルに変更されたことが最大の変更点。
（1986 年版では上級レベルが **Advanced** と **Advanced-Plus** となっている）
- もう一点の大きな変更点として、1986 年版では **Novice**→**Intermediate**→**Advanced**→**Superior** と下級レベルから順にソートされていたのに対し、1999 年の改訂版では **Superior**→**Advanced**…と逆になっている。
- これは例えば、**~High** レベルのパフォーマンスがそのレベルよりも上位レベルの示す言語機能により関連が強い（**Intermediate-high** の場合は **Intermediate-mid** よりも **Advanced-low** の基準により近いものと見なす）という考えに基づくものである。
- **~High** レベルの話者は、一つ上のレベルの言語機能を継続的に使えないということを強調し、**descriptor** の中で否定的な表現や、繰り返しになる表現を避けることも目的している。

参考

American Council on the Teaching of Foreign Languages (1999). ACTFL PROFICIENCY GUIDELINES -Speaking. [ONLINE] Available at: <http://www.actfl.org/sites/default/files/pdfs/public/Guidelinespeak.pdf>. [Last Accessed 12 December 2012].

Fulcher, G. (2003). Testing Second Language Speaking. Great Britain: Pearson Education.